

海外巡回健康相談ーミャンマー、ヤンゴン (2018/8/31-9/4)

1) ミャンマーで健康相談会を実施(9/1-2)

ミャンマーの2017年在留邦人数は2,608人(前年比113%)。30~40%の増加が続いた2014~2016年に比べると増加の勢いは収まってきた。日系企業の拠点数は前年比10.3%増加し438だった。今年度第3回目の海外巡回は今年で4度目となったミャンマーのヤンゴン。昨年と同じくサクラタワーのヤンゴン日本人会事務所を会場に、9月1日(土)、2日(日)の2日間歯科と小児科相談会を実施した。



ミャンマー巡回健康相談実績

都市	場所	スケジュール	医師	参加者数
ヤンゴン (9/1, 2)	ヤンゴン日本人会 (サクラタワー)	小児科相談会	元田玲奈先生	13
		歯科相談会	田中健一先生	34

参加者合計 47名

2) ヤンゴン日本人会

- ヤンゴンの健康相談会はヤンゴン日本人会(武藤太一会長)主催、JOMF協力で開催された。
- 相談会を担当くださったのは、日本人会厚生担当の中島洸潤さん。受付は日本人会事務所に勤務するカインさんとテネさんが対応してくださいました。



日本人会厚生担当の中島さん

2日間受付のお手伝いをしてくれた日本人会のカインさん(左)とテネさん

3) 歯科相談会

- 歯科相談会を担当した歯科医は西埼玉中央病院勤務、北京天衛診療所 医療顧問の田中健一先生。
- 今年も更に進化したプラークライトでみがき残しや虫歯をチェック。高精細度のモニターに映し出された口内映像で家族全員がみんなの歯をチェック。

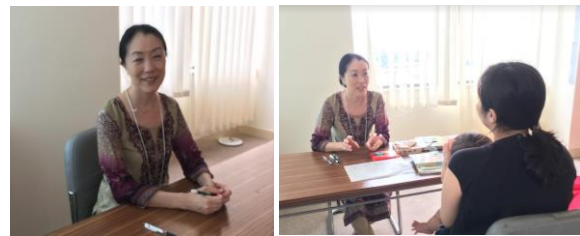


子どもにも大人気のの中島さん

会場となったヤンゴン日本人会事務所

4) 小児科相談会

- 小児科相談会の担当医はシンガポールの日系クリニックの院長を務める元田玲奈先生。
- プロフィール: 1996年東京大学医学部医学科を卒業。東大医学部附属病院、千葉西総合病院、鹿児島県徳之島徳洲会病院、シンガポールInstitute of Molecular and Cell Biologyで基礎研究に従事し、医学博士号取得。虎ノ門病院を経て現職。



5) ヤンゴン医療事情

健康相談の参加者へ現地の医療事情についてアンケートを実施。

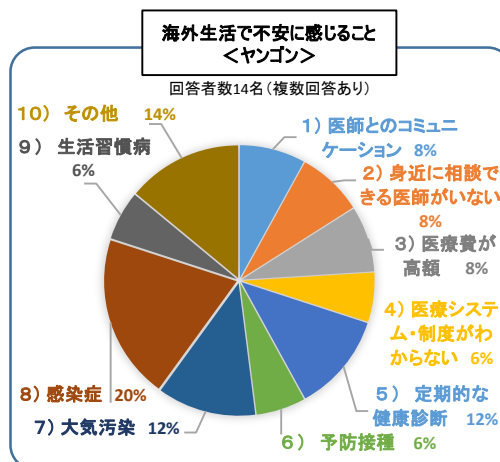
ヤンゴンにおいて医療に不安を持つ人は78%。

不安要因のトップ3は;

- ① 感染症(20%)
- ② 定期的な健康診断(12%)
- ③ 大気汚染(12%)

‘その他’の回答には、「食の安全性」、「医療レベル」、「専門医がいない」、「幼児の急な発熱」などがあつた。

海外医療事情調査の詳細はJOMF HPの会員サイト参照



JOMFの医療支援活動

JOMFは、海外に在留している日本人を医療面でサポートするために1984年に創立され、現在は海外で2か所に日本人常駐医師を派遣している。また、その他の地域には、2001年から日本人医師を巡回派遣して、健康相談、講演、歯科健診などを行っている。国内では、海外在留邦人からの電話・メール・ウェブ掲示板による医療相談を受けたり、海外医療事情に関する講演会、セミナー等を開催している。

JOMFの事業内容ー海外専門科目医療相談:
<http://www.jomf.or.jp/about/jigyoku/special.htm>